

<2018 年度修学旅行研究会開催報告>

日 時:2018 年 11 月 29 日(木)

場 所:名古屋都市センター会議室

発表校:弥富市立十四山中学校

テーマ:「自己の在り方、生き方を考える修学旅行」ー 企業訪問を通して ー

【修学旅行のねらい】

日本の政治・経済・文化の中心である首都東京の諸施設を見聞きしたり、体験的な活動をしたりするなかで、自己理解とともに将来の自分を考える力、計画力や実行力、公衆道徳と集団の秩序や規律を守り自主的に行動できる力を身につけさせることをねらいとした。第 3 学年の学年目標である「臨機応変」を踏まえて、修学旅行で学ぶべきことは何かに注目し、修学旅行のテーマを決定した。

【修学旅行テーマ】 T O K Y O

- T 共に学びあい
- O 思いやりの心を持ち
- K 規則を守り
- Y 良き仲間と共に
- O 思い出深い研修にしよう

【事前学習】

(1)企業訪問先の決定

東京の政治・経済・文化を学ぶことができる企業を各自で調べ、集計し、4箇所(エイベックス・集英社・テレビ朝日・日本テレビ)にしぼった。そして生徒の訪問したい理由を参考に訪問先を決定した。

(2)各企業について調べる訪問する企業の概要(住所、電話番号、アクセス方法、社長名、従業員数、仕事内容・理念など)を調べ、各企業別の課題や当日質問したいことなどをまとめた。

【修学旅行の日程】

- 1日目 名古屋駅 → 東京駅 → 国会議事堂 → ディズニーアカデミー → ディズニーランド → ホテル
- 2日目 ホテル → 東京都内班分散(企業訪問) → ルミネ THE よしもと → ホテル
- 3日目 ホテル → クラス分散 → 東京駅 → 名古屋駅

【当日の活動】

(1)エイベックス(avex)

エイベックスの歴史と事業展開の紹介、新オフィスの案内、エイベックス社員からのメッセージを映像で紹介、事前課題の共有、質問の時間を設けていただいた。

(2)集英社

集英社の会社紹介(芸能誌 Myojo の撮影現場、ファッション誌セブンティーン制作過程、漫画誌ジャンプの原稿制作、小説家・漫画家の方へのインタビュー・書籍の紹介など)、質問の時間を設けてもらった。

(3)テレビ朝日

スタジオや放送設備の見学、ミニスタジオでのニュース体験、テレビ局の主な仕事内容の説明、質問の時間を設けていただいた。

(4)日本テレビ

テレビ局の主な仕事内容の説明や、番組やニュースの制作現場の見学、質問の時間を設けていただいた。

【成果と課題、参加者からの意見】

- 企業からの課題を通して主体的で深い学びができ、その中学生の純粋な強い武器としての子供たちの学びが企業、旅行社をはじめ世の中を正していくことができる。
- 企業訪問で、生き生きと働く社会人から学び、生徒自身の開発的な力の育成につながる。
- 今受け入れ地が、学校のニーズをとらえ、中身のシフトを目指している。
- 小学校からの9年間にわたるキャリアパスポートを生かしてキャリア教育を継続的に積み重ね、将来的に生きていく力、社会的自立、職業的自立を育成してほしい。

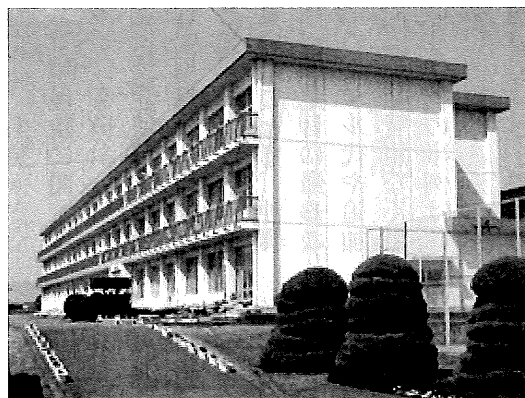
平成 31 年度は、田原市立赤羽根中学校の事例発表を予定している。

『自己の在り方、生き方を考える修学旅行』 ～企業訪問を通して～

教諭 杉本 利英

●学校紹介

本校のある弥富市は、名古屋市の西側20キロメートル圏内に位置し、南部は名古屋港西部臨海工業地帯をへて名古屋港の港湾海域に臨んでいる。また、西側は三重県に隣接している。昭和22（1947）年に開校し、本年度71年目を迎えた。平成18年に弥富町と合併し弥富市立十四山中学校となった。校訓「自主・自立」のもと、「自ら心身を鍛え、強く生きる生徒」「自ら進んで学習し、正しく判断する生徒」「互いに意見を聞き合い、助け合い、磨き合う生徒」を目指す生徒像として、教育活動に取り組んでいる。



学校外観

School Data

【創立年】昭和22（1947）年
【教育目標】
21世紀にふさわしい心身ともに健康で、生涯を通して共存共栄できる生徒の育成をめざす
○自ら心身を鍛え、強く生きる生徒
○自ら進んで学習し、正しく判断する生徒
○互いに意見を聞き合い、助け合い、磨き合う生徒
【全校生徒数】153名（8学級 内特別支援2学級）
【教職員数】21名

実施要項

- 行き先と時期 東京都・千葉県 平成30（2018）年6月11日～6月13日
- 実施学年と引率者数 第3学年2クラス 58名 引率者数7名
- 日程概要

【一日目】6月11日（月）
名古屋駅 → 東京駅 → 国会議事堂 → ディズニーアカデミー → ディズニーランド → ホテル

【二日目】6月12日（火）
ホテル → 東京都内班分散（企業訪問） → ルミネtheよしもと → ホテル

【三日目】6月13日（水）
ホテル → クラス分散 → 東京駅 → 名古屋駅

はじめに

本校では、総合的な学習の時間において、各学年でテーマを設定してキャリア教育に取り組んでいる。1年生では「人と自然」をテーマに郡上体験学習や福祉実践教室を、2年生では「様々な人との交流を通じて、人との関わり方や将来の生き方を考える」をテーマに職場体験学習や平和・人権教育を、3年生では「人との関わりを大切にし、思いやりの心を育てる」をテーマに修学旅行や進路学習を実施している。

修学旅行のねらい

日本の政治・経済・文化の中心である首都東京の諸施設を見聞したり、体験的な活動をしたりするなかで、自己理解とともに将来の自分を考える力、計画力や実行力、公衆道徳と集団の秩序や規律を守り自主的に行動できる力を身につけさせることをねらいとした。第3学年の学年目標「臨機応変」を踏まえて、修学旅行で学ぶべきことは何かに注目し、修学旅行のテーマを次のように決定した。

【修学旅行テーマ】

- T 共に学びあい
- O 思いやりの心を持ち
- K 規則を守り
- Y 良き仲間と共に
- O 思い出深い研修にしよう

●最も重点を置いた活動

企業訪問を通して、自己の在り方や生き方を考えまとめる活動

事前学習

① 企業訪問先の決定

東京の政治・経済・文化を学ぶことができ、企業を各自で調べ、集計し、4箇所（エイベックス・集英社・テレビ朝日・日本テレビ）に絞り込んだ。そして生徒の訪問したい理由を参考に訪問先を決定した。

② 各企業について調べる

訪問する企業の概要（住所、電話番号、アクセス方法、社長名、従業員数、仕事内容・理念など）を調べ、各企業別の課題や当日質問したいことなどをまとめた。

当日のおもな活動

① ディズニーアカデミー・ディズニーランド（1日目）

ディズニーアカデミーでは、ディズニーテーマパークの歴史やキャストが実践している働く上でのルールや思いを学んだ。その後のディズニーランドでは、ただ楽しむだけでなく、実際にキャストがどのようにゲストと接しているかを体験する



ディズニーランドの様子

ことができた。

《生徒の感想》

・ディズニーランドに入ると、アカデミーで聞いたとおりキャストは誰もが笑顔だった。逆に、笑顔でないキャストは一人もいなかった。笑顔で手を振ってくれたり、「走ったらあぶないよ」と声をかけてくれたりと、ゲストに対してやさしく気遣う姿をたくさん見ることができた。自然と笑顔になり、とても幸せな気持ちになる理由がよく分かった。夢の国をよりよくするため、一人一人が意識して行動していることがすごいと思う。修学旅行だからこそ気づくことができたことがたくさんあり、ディズニーランドをよりよく感じてもらうための工夫を学ぶことができた。

② 企業訪問（2日目）

① エイベックス（ave x）
エイベックスの歴史と事業展開の紹介、新オフィスの案内、エイベックス社員からのメッセージを映像で紹介、事前課題の共有、質問の時間を設けていただいた。

《生徒の感想》

・エイベックスでは2000年まではCDなどを販売していたが、インターネットの普及により売れなくなった。しかし、エイベックスはすぐに新しいことにチャレンジして見事に成長した。今回の学習で、有名な音楽やアプリ、アニメ、ライブの設立など僕たちと身近なつながりがあることに驚いた。エイベックスで学んだ「やりたいことを強く思う」「チ

「ヤレンジをする」ということを大切にしたい。
 ・今回の企業訪問を通して、エイベックスの歴史・ライブの構成・演出などいろいろなことを学んだ。一番印象に残ったことは、「ビジネスはあいさつが大切」という言葉だった。あいさつはいろんな場面で使われる。あいさつを気持ちよくできれば、会議などがスムーズに進むと思う。私は、これからあいさつと笑顔を大切にしたい。そして、私だけでなく周りのみんなも笑顔にすることができるとなりたい。また、いつもよくいくライブをすることがどんなに大変なのかを知ることができてよかった。もっとエイベックスのことを知りたくなった。

②集英社

集英社の会社紹介(芸能誌V・Gの撮影現場、ファッション誌セブンティーンの制作過程、漫画誌ジャンプの原稿制作、小説家・漫画家の方へのインタビュー・書籍の紹介など)、質問の時間を設けてもらった。

《生徒の感想》

・私は毎週かさず週刊少年ジャンプを読んでいるので今回の訪問を楽しみにしていた。最近最終回を迎えた作品がたくさんあり寂しく感じていた。しかし、制作の裏側や作家や編集者の思いを知ることによって、「作品が終わる寂しさ」ではなく、「次の作品への楽しみ」へと考え方が変わった。
 ・今の時間を大切にすることを学んだ。子どものときにできなかったこともあれば、大人



集英社へ向かう様子

にならないとできないこともあることを知った。大人になったらできない子どもの時にしかできないことを見つけ、今この時を大切にしたい。職場体験でも学んだことだが、将来のためにも世の中のためにも、今勉強をがんばろうと思った。

③テレビ朝日

スタジオや放送設備の見学、ミニスタジオでのニュース体験、テレビ局の主な仕事内容の説明、質問の時間を設けていただいた。



テレビ朝日での活動の様子

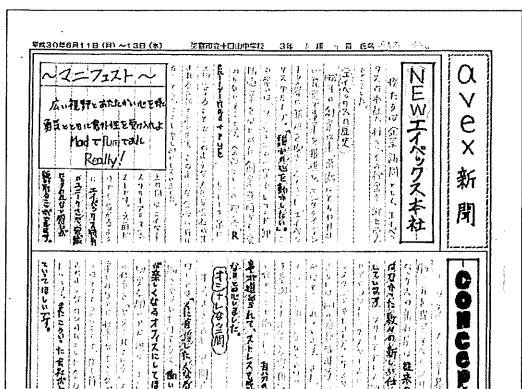
《生徒の感想》

・取材で大切なことは、報告・連絡・相談「ニュースを伝えるときに大切なことは、速さ・正確さ・わかりやすさ」「緊急のニュースが入ったとき、準備していた内容を大きく変える対応力」などたくさんことを学んだ。ニュースで情報が流れるまでには、たく

努力をしているのだろうと思った。

事後活動

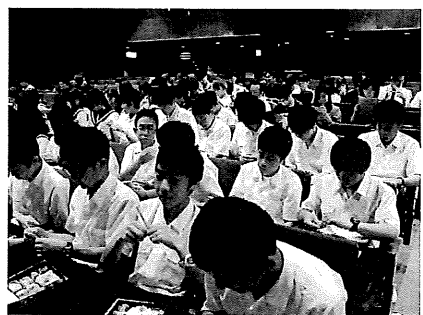
事後学習として、修学旅行全体を振り返ったの作文と一人一枚新聞形式のレポートを作成させた。作文のテーマは、修学旅行3日間の振り返りだったが、企業訪問についてまとめる生徒が大勢いた。完成したレポートは学校祭で掲示をしたため、全校生徒や学校祭に参加された地域の方々にも発表することができた。



企業訪問に行った生徒のレポート

《生徒の感想》

・どの職場でも、そこで働いている人たちがみんなが生き生きとしており、楽しそうだった。どんなに辛く苦しいことでも、楽しむことによってすばらしい達成感を味わえるのだ



ルミネtheよしもと劇場での様子

さんのスタッフさんが関わっていることを知った。今後の学校生活に生かしたい。
 ・一番印象に残ったのは、「僕達が意識していることは、視聴率ではなく、たくさんの人たちに楽しんでもらうことであり、みなさんに楽しんでもらえば自然に結果がついてくるはず」という言葉です。これから学校祭がある。勝負事なので勝ちたいという思いが強くなると思うが、まず、みんなで楽しむことを大切にしたい。結果だけでなく、その過程を大切にしたいと思った。

④日本テレビ

テレビ局の主な仕事内容の説明や、番組やニュースの制作現場の見学、質問の時間を設けていただいた。



日本テレビでの活動の様子

ろうと思った。

・「積極性」「笑顔」「元気」など大切なことがたくさんある。私は「ありがとう」の一言でさえ恥ずかしく、照れくさい。あらためて「当たり前」のことを当たり前でやることができな「こと」に気づかされた。これからは、「ありがとう」でたくさんの人たちを笑顔にしたい。
 ・楽しかっただけではなく、コミュニケーションの取り方、決められた時間や規則を守ること、友達の大切さをあらためて実感した。

おわりに

今回の企業訪問では、各企業が大切にしていることやそこで働く人たちの仕事に対する考え方や思い、社会人としてのルールやマナー、生き方などたくさんを学んだ。そしてこの訪問をきっかけに自己の在り方、生き方について考えまわることができた。

本校では、キャリア教育の指導の重点を、「生徒が自らの生き方を考え、将来に対する目的意識をもって、主体的に自己の進路を選択決定し、生涯にわたり自己実現を図っていくことができる能力や態度を育成できるように学校の教育活動全体を通じ計画的、組織的、継続的に取り組む」としている。キャリア教育とは、生涯にわたって、自己の在り方、生き方を考えることであり、学ぶ意欲を育てる教育だと考える。中学校卒業後の人生はまだまだ長い。これから先、どんなときでも学ぶ意欲を失わないよう、成長し続けて欲しい。